

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター 所長  
(公印省略)

### 病害虫発生予察特殊報について

平成 20 年度病害虫発生予察特殊報第1号を発表したので送付します。

---

### 平成 20 年度病害虫発生予察特殊報第1号

1 病 害 名 : マンゴー枝枯細菌病 (仮称)

2 病原細菌 : *Erwinia chrysanthemi*

3 対象作物名 : マンゴー

4 発生地域 : 沖縄県石垣市(石垣島)、竹富町(西表島)

#### 5 発生確認の経緯

平成 17 年夏季頃から沖縄県石垣市の施設栽培マンゴー(品種:アーウィン、キーツ)において、はじめ緑枝表面が褐～黒変し、その後、枝および葉が枯死する症状がみられた(図1)。

本県農業研究センターおよび九州大学大学院農学研究院 土屋健一教授らの共同研究の結果、本症状は *Erwinia chrysanthemi* による細菌病であることが明らかになった。

石垣島以外では西表島で発生が確認された。各農業改良普及センターの協力により現地調査および聞き取り調査を行った結果、現在のところ沖縄本島および周辺離島、宮古群島での発生は確認されていない。

#### 6 病徴・被害・伝染等

はじめ緑枝表面が褐～黒変し、枝では萎凋後に枯死し、葉では葉柄を経由し中肋から葉縁に褐～黒変症状が進み、枯死する(図2、3、4)。病葉は離葉しないまま枝に残る(図5)。開花期に施設内に発病枝が残存している場合、花穂が枯れ上がることもある(図6)。現在のところ、果実での発生は確認されていない。

#### 7 防除対策

感染経路は現在のところ不明であるが、以下の拡大防止策をすみやかに徹底して行う。

- ・発病枝の剪定および施設外への持ち出し、焼却等による処分を行う。
- ・剪定器具は、防除専用のものを準備し、剪定を行うごとに次亜塩素酸ナトリウムによる消毒を行う。

#### 8 参考文献

宮平奈央ら(2008) *Erwinia chrysanthemi* によるマンゴー枝枯細菌病(新称)。平成 20 年度日本植物病理学会大会(講演要旨)



図1 発病樹



図2 枝の黒変



図3 枝と葉柄基部付近の褐変



図4 枝先端部の褐変枯死



図5 枝の枯死



図6 花穂の枯死